

我 子 の 性 質

倉 橋 惣 三

毎日お世話をまになりまして、有り難うございます」
 「いへえ行届きませんで。それにしてもよく幼稚園において下さいますが、幼稚園に就て、何か御感想なり御注意なり」「さういたしまして、私どもに、そういうふことは何もございませんので」
 「それでも、お子さんを幼稚園にお入れになつてから何か…」「はあ、ございます。私に我子の性質があつたと参りました」「なるほど」
 「お恥しいことでござりますが、あの園の日に、子どもを連れて参つて、大勢のおさんの方の中で我子を見ました時、世間にござる「こないだも、ある奥さまが同じやうなはいるーーのお子さんがあるものだと初め思ひました。そして、我子とそれぐ達

つてゐらつしやるところに、我子が、さんざいふことを、初めて知りました。それから、こうして幼稚園へあがりますたんびに、それが一層よく分つて参りまして」「わゆうですか。」「岩にて、我子ばかり見てゐますと、それが少しも分りませんのです。親の懶目で、大層いゝ子に思つてみたり、親のあせりで、缺點ばかり目についたり、それがまた、こつちの氣分で、いろへん變りました。つまり、我子のほんとうのところが少しも見えてませぬで」

（文部省推薦圖書）
ボクトボチ（五一六歳）
 黒崎義介畫文
 仲良く遊び暮す一日の生活を描いたもので、朝のラジオ體操から始まり、お使ひに同道したり、一緒に兵隊こつけました。それから、こうして幼稚園へあがりますたんびに、それが一層よく分つて参りまして」「わゆうですか。」「岩にて、我子ばかり見てゐますと、それが少しも分りませんのです。親の懶目で、大層いゝ子に思つてみたり、親のあせりで、自ら元氣な活動を誘發せられる所謂童画に收められてゐる。

子供と犬の一つの姿態には、明るい無邪氣さが溢れ、微笑みを禁じ得ないものがある。子供が飽かず眺め入つて、らしい童画と言へよう。

大阪昭光玩具工業所發行（神田區旭町二二） B五判 定價三十錢

ツヨイコドモ（五一六歳）
 黒崎義介畫文

此の繪本の中に描かれてゐる子供にも、裡に満ち満ちてゐるはち切れさう

では、あんなに意氣地しなのかと思ふと、
くやしくなりました。おひしゃいでゐま
した。
「……」

「それは困りましたね。それは、丁度そういふお友達の爲だつたかも知れません。そ

「それ／＼缺けたところもござ
「それは小さいお子さんですか
「でも先生方は、それをよく發

いませう

が、樂しくも亦逞しい姿が描かれ

「それが、そのお子さんとは、全く反対なのでござります。うちでも、あんな、ねんねえかと思つてゐましたのに、幼稚園では、なが〜一とがざ振舞つてゐますやうで」

卷之三

「さようですね。があれで、おやさしいと
ころがおありで」

「どうしていたしかたない」といふ嬉しさが、ながくあります。ながには、ながへそうじ。

「や、これがおやつか」

ところに氣がついて下さらないま
して。つぶくし共から申上げて、

「じゃあどういたしまして。實はなんでも

卷之三

ざいます。生意氣を申しますようですが、子どもは、いゝ、わるいとふよりも、ひと

り／＼ちがつてゐまして、その性質々々に

「個性とか、個性判断とか、そういうふうお

よつて導いてゐて下さる、先生方の御苦心
が、ほんとうに有り難うございます。」

も承りたり。本で読んだりしてはゐまし
が、こうして、多勢のお子さんの中に我で

「そういへていただきますと、お恥しい次第ですが、まあ、さういふやうに心がけては

を置いてみて、初めて、我子がはつきりいたしました譯で。」

又ここで取扱はれてゐる強さは強くならうといふ努力ではない。又我慢の強さでもない、生命的躍動の強さ、止むに止まれぬ活動の強さである。それ故にこそ強い子供は楽しい子供であり、又楽しい子供であるがうした強さこそ先づ幼児に與へねばならないものであらう。主題から言つても、繪から云つても最近類似の繪本では出色のものとして推薦する。

小學館發行(神田區一ツ橋二丁目五)
B五判 定價 三十五錢